

① 食品の安全を守る

食品の安全や正しい表示を求めることは消費者の**権利**であり、そのために行動することは消費者の**責任**です。



国の各行政機関と**食品安全委員会**が協力して、食の安全を守る取り組みをしています。

食の安全性が脅かされるような問題が生じたことをうけて、

2003年 **食品安全基本法**

が施行されました。

健康に悪い影響がでる可能性とその度合いを評価するところ...

食品安全委員会

→ 食品中の放射性物質の基準値を評価したりした。

2003	アメリカでBSE* ¹ 牛が発見され、日本は輸入停止
2007	牛肉偽装事件、消費期限・賞味期限の改ざん
2008	輸入冷凍ぎょうざによる中毒発生、非食用米の食用転用、輸入食材へのメラミン混入
2009	食肉の加熱不足により食中毒が発生
2011	原子力発電所事故により、水や食品から暫定規制値* ² を超える放射性物質を検出 食肉の生食により食中毒が発生
2013	ホテル・百貨店・飲食店で食品の不当表示が多数発覚 冷凍食品への農薬混入事件が発生

5表 ▶ 食品の安全・情報をめぐる最近のできごと

- *1牛海綿状脳症のこと。牛の脳がスポンジ状に変化し、死に至る。
- *2放射性物質で汚染された食品が流通しないように販売を規制するため、設けられた規準のこと。